

〇はじめに～本書の上手な読み方

「できることなら注文住宅でマイホームを実現したい」というあなたの夢を、“実現したい”から“実現へ”とマイホームの取得をサポートするのが、本書です。

はじめての家づくりは、「どこに頼んだらいいの?」、「お金はいくら必要?」、「住宅ローンは?」など、何かから始めたらいいのか戸惑うものです。一生に一度の大きな買い物と言われる家づくりですから、疑問や不安もたくさんあるのではないのでしょうか。

その中で、だれもが願うのは、「悔いのない家づくりをしたい」ということだと思います。

家づくりは、夢を膨らませ、思い描き、新居での家族の暮らしを想像し…、と楽しいものです。その一方で、依頼から竣工まで1年近くを要し、様々な場面で、選択や決断を迫られるのも家づくりなのです。

でも難しいことはありません。楽しい家づくりになるかどうかは、実は、あなた次第なのです。

家づくりのコツやポイントがわかると、安心してスムーズに家づくりを進めることができます。家づくりの資金計画は、流れや、ポイントがわかれば心配ご無用。本書では、疑問や不安を解消しながら、理想の家づくりのために欠かせない、「家づくりのお金」のコツや要点をまとめています。

無理のない資金計画で新居の暮らしも楽しみたいものです。本書で「家づくりのお金」のコツや要点をしっかり押さえて、疑問や不安は早めにスッキリ解消しましょう。そして、安心して、家づくりを楽しみながら、納得のいくこだわりのマイホームを実現してください。

○家づくりのお金は、“総費用”で計画を

新居での暮らしも左右する資金計画は、無理のないようにしっかり検討したいものです。

マイホーム取得にかかる費用には、「建物の建設費」、「土地の購入費」のほかに、さまざまな「諸費用」が発生します。諸費用を含めた「総費用」をもとに、資金計画、返済計画を立てることが重要です。

土地や建物の価格は比較的、つかみやすいものですが、資金計画から漏れてしまいがちなのが「諸費用」です。諸費用には、土地の状況で追加になる地盤改良や擁壁、上下水道の引込工事などをはじめ、引っ越しや家財購入、地鎮祭などの費用が含まれます。

また、注文住宅の場合は、「土地売買契約」や、「工事請負契約書」などの契約にも印紙税と仲介手数料、登記費用などが発生します。

自己資金から現金で支払うのが多い部分です。物件価格の20%程度が目安になります。予算内で家を建てるためにも、物件価格だけの検討ではなく、諸費用も盛り込んだ、「総費用」で無理のない資金計画を立てましょう。

